

とうべつ

手にとって <sup>ぐ~っと</sup>good 身近に

# 議会だより



No. 199

令和元年11月1日発行

## CONTENTS

## 9月定例会

- 税金の使われ方を厳しくチェック・・・・・・・・・・ p.2  
平成30年度各会計決算審査特別委員会
- 財政運営方針と新しい総合計画は・・・・・・・・・・ p.6  
総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会
- 教育長「図書館設置条例制定に向け準備」・・・・・・・・ p.8  
6人の議員が一般質問



「ふくろう図書館」(学習交流センター内の図書室)

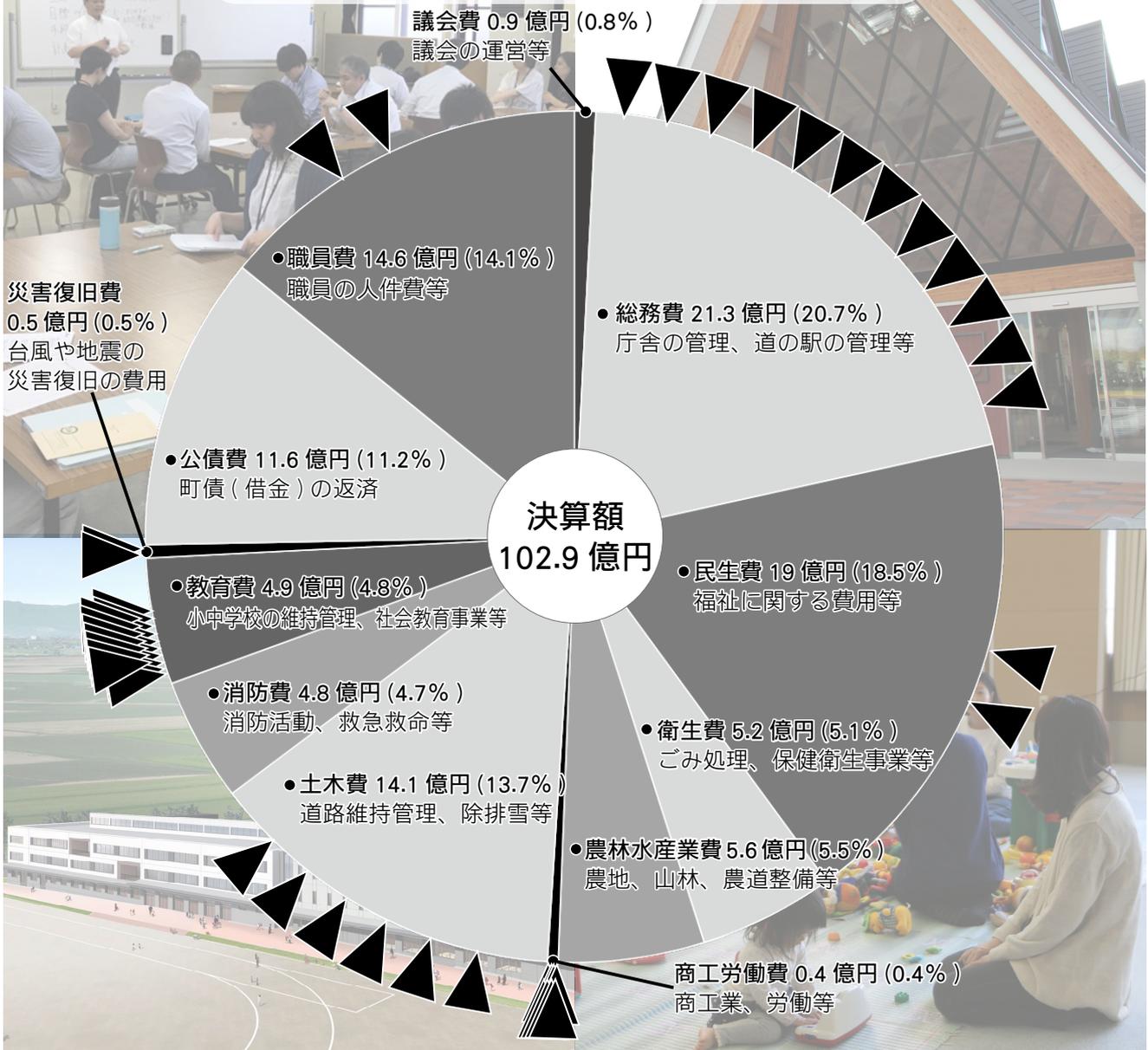
# 私たちは、ここに注目しました！

## 平成 30 年度各会計決算審査

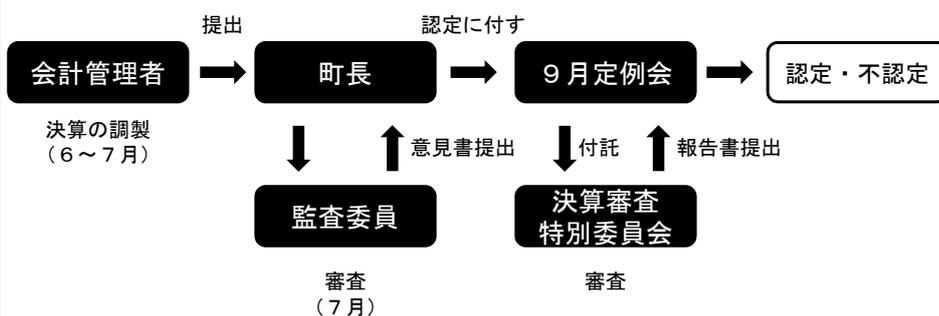
### 一般会計歳出

※一般的な行政にかかる経費の支出

▶ … 決算審査で各委員が質問したところ



### 決算の流れ



決算審査特別委員会  
インターネット動画配信



議会だよりに掲載していない  
質疑の様子が見られます。

# 町の未来をつくる教育・子育て

**決算  
審査**

## 町民の声を反映する場は

一体型義務教育学校基本設計業務委託

**問** 基本設計に当たって町民の声を反映するために意見交換をするオープンな場を設けなかった理由は、町民説明会でコミュニケーション不足を指摘する意見が多かったのはどう考えるか。

**答** 町民説明会や様々な取り組み、パブリックコメントや保護者等からの意見集約などに努めてきたところである。最終的にこれらの意見を基本設計に反映してきた。



一体型義務教育学校基本設計住民説明会(7/26・ゆとろ)

**決算  
審査**

## コミスクへのサポート体制

コミュニティ・スクール運営事業 45万円

**問** コミスク※<sup>1</sup>がこういう活動をしたかったといった発案と意思を持って自発的な活動ができるよう教育委員会でサポートできる体制について何らかの対策はとられているか。

**答** 今後こうしていきたいというような要望を酌み取りながら、早目早目に対応ができるように話を聞き進めている。

**決算  
審査**

## 少年指導員の負担軽減を

巡回指導事業 267万円

**問** 補導や問題件数の傾向は、また、数少ない生徒の親たちに負担をかけ過ぎてないか、負担を軽減することまで考えなければいけない時期に来ていると思う。今後の考えは。

**答** 把握状況はここ数年は減少傾向である。明らかな問題行動はなくても巡回等による抑止は間違いなくあると思うので、今後も状況を見ながら継続していきたい。



北海道医療大学の学生との新しい総合計画策定に係るグループインタビュー

**決算  
審査**

## 医療大学との連携の成果は

医療大学連携プロジェクト事業 260万円

**問** 連携推進プロジェクト事業の負担金の内訳と事業内容、成果は。

年生が住民票を異動した際に配布する商品券やタウンミーティングの開催経費が60万円。成果は、住民票の異動が少し増加傾向であることや先生に各委員会の委員を引き受けてもらっている。

**答** 大学に地域連携推進センターを設置し、経費負担が200万円。大学1

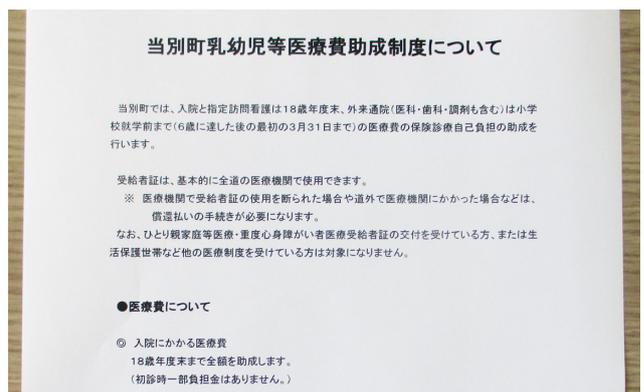
**決算  
審査**

## 職員の制度の理解不足

乳幼児等医療費助成事業 1,083万円

**問** 制度は拡大しているが、29年、30年度を比べてただけでも決算額は減少している。もし、申請漏れがあったとしたら、過去に遡ってしっかりこの制度を対象者に使っても

らうべきでは。  
**答** 仮に遡って該当することがあった場合でも、町民の不利益にならないよう償還払いにより給付する取り扱いも設けている。



乳幼児等医療費助成制度の案内チラシ

※1 コミュニティ・スクール… 学校運営協議会を設置した学校。委員に任命された保護者や地域の方々为学校運営に参画する仕組み。

# 町に人を呼び込む・稼ぐ町に



ふれあい倉庫創業祭

## 決算審査 地域おこし協力隊の採用

観光協会(周遊事業)補助金 16万円

**問** 地域おこし協力隊が最終的には採用には至らなかったとのことだがどうしてか。また、今年度も募集をしていると思うが、現時点での状況は。

**答** 2名の応募があり1名は内定を出したが、その後、募集要件を見直すとこの要件では働けないと辞退された。今年度も引き続き募集し8月1日付けで採用した。

## 決算審査 ふれあい倉庫の利用者数

文化創造と賑わい創出拠点事業 868万円

**問** ふれあい倉庫の来館者数が前年に比べ3,000人減っているが、どのように分析しているのか。

ふれあいホールでの物販は対前年比で70万円程度増加している。単体の利用者数が少しずつ減少していることが原因ではないかと考えている。

**答** 使用団体数や使用回数はほぼ前年度と同様で、



地域おこし協力隊の中川悠里(ゆうり)さん



更新された町民ポータルサイト

## 決算審査 観光協会のポータルサイト

観光情報プラザ FIKA への補助金 200万円

**問** 町民ポータルサイト※1でのSNS等による情報発信を行ったとのことだが、更新日が2017年12月26日となっていた。町民に情報が届いていないのでは。

**答** 近年SNSの普及が顕著でツイッターとインスタグラムでPRに力を入れていた反面、観光協会のポータルサイトの更新が滞っていた。補助金を交付する立場として、更新を促していく。

## 決算審査 中野区での加工品の販売

当別・新篠津特別区連携プロジェクト 200万円

**問** 中野区で加工品の販売を実施したとのことだが、販売額及び集客数は。また、両町村で中野区の大学にゼミ合宿をPRしたとのことだが、成果は。

**答** 当別町分は約38万円。来場者約4,500名とカウントしている。また、大学を5校ほど訪問したが残念ながら訪問上ではまだ実績がない。

## 決算審査 道の駅プロモーション

道の駅プロモーション事業 598万円

**問** 秋と冬のプロモーションの内容と実績は。

スウェーデン館を活用した子ども向けの映画上映。目に見える来客数の増加というのはなかなか厳しい状況であったと担当としては考えている。

**答** 秋には、雑誌での周知やテナントと(株)tobeと一緒に開発した季節限定メニューの販売。冬には、

※1 町民ポータルサイト…町内の団体や個人が自らの手でホームページやブログなどをWeb上に掲載し、情報発信をしているサイト。

# 起業しやすいまちづくり

次のページは

常任委員会等審議

本会議前に、

委員会で説明と審議が行われます。

## 決算審査 企業立地促進条例改正の効果は

企業誘致推進協議会への負担金 105 万円

**問** 昨年の6月定例会で企業立地促進条例の改正を議決したが、その際、過去に利用実績はないとのことであった。制度改正後の活用状況と利用状況は。

**答** 本日時点ではあるが、既存の町内事業者で6件、新規事業者で1件ある。今後の利用見込みは、既存の町内業者、新規事業者それぞれ1件である。条例改正により一定の効果があった。

## 決算審査 制度見直しによる伸びは

中小企業特別融資利子補給事業 442 万円

**問** 当別町中小企業特別融資利子補給事業の件数と金額は。また、平成30年から利率の見直しを行ったと記憶しているが、例年の利用より伸びているか。

**答** 利子補給79件で約219万、信用保証料21件で約223万円。30年4月に貸付利率を引き下げ、貸付枠を増額した。過去3カ年平均との比較は、4件の増で貸付額も約3,600万円増加した。

## その他



改修中の東町団地

## 決算審査 団地の長寿命化の考え方

公営住宅長寿命化事業 3,604 万円

**問** 東町団地の一番奥から改修工事を始めたが、コンパクトなまちづくりを進めるための立地適正化計画（策定中）と逆行しないか。

**答** 道道から一番奥の団地は、団地の中では後年次に建てられたもので、耐力も保っている。費用対効果含め、奥の新しい住宅から長寿命化の改修工事に着手した。

## 決算審査 役場職員の時間外手当

給与費の時間外手当

**問** 時間外手当についての内容と一人当たりの最高時間は。

**答** 給与費の時間外手当の支出額合計は約5,800万円。前年度より約100万円増加しているが、ブ

ラックアウトに伴う災害対応やその前日の台風災害での対応があった。残業時間では、700時間台が2名いた。業務過多と管理職側も当然認識しており、是正すべく対応もしている。

## 『適正な決算と認定』 決算審査特別委員会報告



平成30年度各会計決算審査特別委員会  
五十嵐委員長（写真左）・山田副委員長（写真右）

### 【その他の質問項目】

周遊観光事業の減額理由、町営住宅の入居申し込み状況、町営住宅の保障・賠償の内訳、就学援助費の不要額の発生理由、歴史研究員の報酬、150年史の業務内容、英会話指導助手の人数、中学校における英語力強化の今後の考え方 など

### 起草委員会

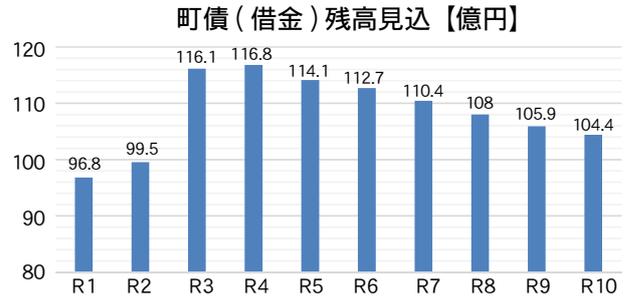
委員長	山崎 公 司
委員	古谷 陽 一
委員	秋場 信 一
委員	鈴木 岩 夫

※決算委員会の審査結果報告文書を作成する委員会

総務文教常任委員会(9/11)、産業厚生常任委員会(9/12)を開催し、町から一般

## 当別町財政運営方針

一体型義務教育学校の建設費は、基本設計時の概算事業費が約59億(とうべつ議会だより第198号p.3参照)と示されました。また、役場庁舎の建て替えや図書館建設などの議論がある中、安定的な財政運営を維持するため『当別町財政運営方針』が策定され、それについての説明があり、質疑が行われました。



総務文教

### 念頭においた事業は

問

町債残高は事業の積み上げの数字だと思うが、10年間の財政運営方針を策定するときに念頭においた事業は。

答

一貫校については6月議会で説明した事業費を計上している。その他の事業は道路や橋梁、公園などの長寿命化計画に載っている事業を計上している。

総務文教

### 図書館や役場庁舎建設は

問

町長が色々ところで約束した事業が、方針に含まれているか町民から意見がくる。例えば町営住宅の長寿命化事業、図書館建設や庁舎の建て替えは入っているのか。

答

学校建設など事業費を検討したもののみ含めている。国の施策動向もあり、町で進めている人口減少対策や役場庁舎などの施設建設が具体化した際には随時更新する。

## 新しい総合計画

委員会では、令和2年度を始期とする新しい総合計画(案)についての説明があり、それに対し質疑が行われました。



第1回当別町総合計画審議会(8月7日開催)

総務文教

### 次期計画 目標人口の設定は

#### 【目標人口】

現状の自治体機能を維持し、今後も効果的な行政を展開することを踏まえ、目標人口は、**20,000人**に設定します。

第5次総合計画ダイジェスト版に掲載の目標人口

総務文教

### 計画審議会委員の選任

問

審議会のメンバーの中で少子化対策や人口減少について、特に期待をして選ばれた人はどのような方か。

答

公募の委員の選考については、これまでの子育ての経験や今後子育てに関する部分へ強い思いがある方を選任した。

問

総合計画の素案が出てきたが、新しく作る計画の中で、数値として目標人口をあげて、計画を策定するのか。

答

現在の総合計画でも目標人口を掲げているが、

新しい総合計画でも目標人口を掲げる。総合戦略も包含した計画になるので、総合戦略では内閣府の指導により目標人口を制定しなければならないので、それを包含した総合計画であるため、当然目標人口を設定する。

会計補正予算や条例制定等の提案説明があり、それに対する質疑が行われました。

## 一体型義務教育学校 今後も意見聴取を

総務  
文教

### 町民の要望はいつまで

問

実施設計は来年3月までが期間となっているが、実施設計に対する町民の要望、意見などは時期的にはいつまでくみ取れるのか。

答

実施設計の町民等々の意見はいつでも聞ける体制にあるが、期限は遅くとも今年の12月中までにいただけると実施設計に反映できると考えている。

総務  
文教

### 意見を取りまとめる機会は

問

住民の理解度が低いようなことも聞いている。住民説明会だけではなく、今後、住民から意見を取りまとめるような機会は考えているのか。

答

開校準備委員会や教育課程編成委員会、庁舎内のメンバーも含めた建設検討委員会の中でも意見を集めている。また町民からもこの機会にまたいただいた意見も反映しながら進めていきたい。

## 観光いちご農園を誘致

町の企業立地支援により、道の駅の隣接地に観光いちご農園が開設されるとの説明があり、道の駅からの景観や動線などについて質疑が行われました。

産業  
厚生

### 道の駅からの景観

問

美しい夕日が見える道の駅の西側にハウスが建てられた。もし、4棟目が建設される場合は西側か。南側に新しいハウスを建てた場合、道の駅からのロケーションが失われるのでは。

答

この場所は、民有地であり、今回のいちご農園は、農業の一部の位置付けになるので、建設を規制できるものは何らない。4棟目以降は南側に増設がされていくのではないかと考える。



上空から撮影した道の駅といちご農園のハウス

産業  
厚生

### 道の駅への動線は

問

駐車場はどこで作るのか。また、車での道の駅への移動は、国道に出ないで移動できるのか。

部を予定していると聞いている。また、道の駅と連動したものと考えているので、道の駅の駐車場に車を止め、道の駅を利用して、徒歩で農園にも行けるような動線の確保を現在検討していると聞いている。

答

駐車場の整備については、国道337号線の副道から農地に入る場所の一



観光いちご農園の事業用地

【その他の主な質問項目】

給食調理外業務委託の減額補正理由（総務）、火葬場除雪業務委託の積算方法（産業） など

次のページは 一般質問 6人の議員が登場し、19項目の質問をしました。



# 一般質問

西村 良伸 議員

質問の  
ねらい

## 第6次総合計画が策定されます!!

当別町の総合計画期間は、令和2年からの10年間、町の政策の基本的な方向や町民共通の指針となる。これから当別町をどんな町にするのか、計画を策定するため現状や課題をどう整理していくのか、検討しな

くてはならない。人口減少問題や庁舎・小中学校・地域会館・公営住宅・道路等の整備に要する財源確保、当別町の賑わいのある町にするための方策、小中一貫校の着実な実現など町長に質問した。

### ここを聞きたい 人口減少をストップさせる

**問** 当別町の人口減少を止められない特徴的な要因は。また、目標人口は、どのような基準・考え方で積み上げているのか。

**答** 宅地開発停滞による子育て世代の減少及び出生

数の減少が主な要因である。また目標人口は、計画が達成された成果やインフラ維持を念頭に決めているが、住宅開発など時間が必要で、人口減少の歯止め時期は、想定より先延ばしせざるを得ない。

### ここを聞きたい ふるさと納税で人口増

**問** 当別町を創生させる要素は沢山あるが、ふるさと納税額は、30年度の町税収入の41%で、人口1万6,000人として、単純計算で町民約6,600人分に相当し、人口増の成果とすべきでは。

**答** 住民登録をしていないが、ふるさと納税をしてくれる方が沢山いる。財源を支えてくれる「見なし人口」をどのようにカウントするか、検討したい。

### ここを聞きたい 札幌市と連携して町づくり

**問** さっぽろ連携中枢都市圏構想の中で当別町の役割や戦略無しでは、埋没し、人口の流失につながるので、当別町の良さを意識した、当別町ならではのプランを掲げるべきでは。

**答** 当別町の緑豊かな居住環境や食糧基地としての機能を発信したい。また、圏域内の交通網充実や地域医療など広域的な取り組みも行っていくので、むしろ人口増につながるものと確信している。



当別小学校の校舎と体育館

### ここを聞きたい 小中一貫校の着実な実現を

**問** 小学校と中学校を別々に更新するより一貫校を当別中跡に建設する方が割安になる。更に当別小学校を解体せずに有効利

用した場合、一層の経費節減が可能では。

**答** 当別小学校は、可能な限り活用し、経費削減に努める。

### ここを聞きたい 当別小をどう活用するのか

**問** 当別小の校舎や体育館を役場庁舎、図書館、文化センター、団体の活動拠点等へ活用ができないのか。また、一貫校の実施設設計の報告に伴う事業費の見直し・削減は、あるのか。

**答** 公共施設に関し立地適正化計画を策定中であるが、当小の活用は、役場庁舎も含め図書館等に利用できないか検討している。また、一貫校の事業費の見直しや圧縮、増改築の余地も残している。

#### 【その他の主な質問項目】

高齢者が活躍できるシステム作り、第2次財政運営計画の目標達成の要因 など

# 一般質問

島田 裕司 議員



質問のねらい

## まず「図書館設置条例」制定を

町長は残り任期の中で公約である図書館建設について、これまで「何とかしたい」と述べているが、どう取り組むのか。

今の町や教育委員会の現況を考えると、まず「図書館設置条例」を制

定し、常勤職員としての専門職の配置や町民ボランティアなどの協力をいただき、今後、建設される図書館へと、スムーズに移行する方法をとってはどうかと思う。

ここを聞きたい

## 図書館建設、町長の決意は

**問** 1年前、図書館建設について公約であるので任期中に何とかしたいと答弁があった。2期目の任期も2年を切っており、図書館建設についてどう取り組むのか、改めて町長の決意を伺う。

**答** つくりたいという強い思いは全く変わっていない。私の任期中に方針を明確にできればと今も思っている。

ここを聞きたい

## 図書館設置条例の制定を

**問** 図書室のある学習交流センターの建物全体を図書館設置条例で町立図書館として位置づけ、将来建設される図書館への基礎固めを行い、できることから早急に取り組んではどうか。

**答** 新設に向けて時間を要していることもあり、先行して条例を制定し、さらなる住民サービスの向上につなげたいと考え、条例制定に向けて順次準備を進めていきたい。

ここを聞きたい

## 湯山家旧宅を図書館の分館に

**問** 湯山家旧宅において現在NPO法人が幼児や児童向けの図書を所蔵し文庫をボランティアで開いている。図書館設置条例の制定に合わせて、町立図書館の分館とすることを検討してはどうか。

**答** 町全体の読書推進計画あるいは図書環境の整備といった観点から、そういったことが必要であるという状態になれば検討していくということはやぶさかではないとも考えている。

ここを聞きたい

## 災害情報の伝送システム整備を

**問** 当別町は現在市町村防災行政無線を導入していないが、今の対応で十分と考えているか、今後導入していく考えはあるか。

**答** 今現在の対応で十分とは決して思っていない。あらゆる住民生活に対応した多様性のある情報伝達手段について、研究を進めていきたい。



「協力雇用主」募集のパンフレット  
(法務省・厚生労働省作成)

ここを聞きたい

## 再犯防止の支援策は

**問** 刑務所や少年院出所者の再犯防止、社会復帰への支援として地域事業者への協力雇用主<sup>※1</sup>会への参画について、町が発注する工事において協力雇用主に対する優遇措置を導入する考えは。

**答** 協力雇用主に何らかのインセンティブを与えたいが、ポイント制等の発注方法は、当別町の規模では馴染まない。国や道は優遇措置があるので、町内に協力雇用主を増やしていきたい。

※1 協力雇用主… 犯罪・非行の前歴のために定職に就くことが容易ではない刑務所出所者等を、その事情を理解した上で雇用し、改善正に協力する民間事業主の方々。



# 一般質問

山田 明 議員

質問の  
ねらい

## 義務教育学校建設の財源確保は？

①義務教育学校に対する住民の理解度を高めては？また、学校の建設費に「企業版ふるさと納税」の活用を考えては？②当別花火大会の意義をどのように認識しているか？また、今後、花火大会の支援を考えな

いのか？、当別町 150 年記念事業として、PR に活用しては？③近年、人手不足問題が表面化している。従業員の高齢化、労働時間の問題等で人材確保が困難な現況で、今年度の除排雪体制に影響はないか？何う。

ここを  
聞きたい

## 地域住民の理解不足の声は

**問** 義務教育学校の建設事業について、地域住民の理解度を高めるために、町民向けの新しい学校のあり方を考えるセミナーなど義務教育学校を一緒に考えていく取り組みを多く行うべきでは。

**答** 平成 30 年度に説明会だけでも 9 回、コミスクでの熟議の場にも議題として取り上げてもらった。いまだ理解が広がってないとのことだが、理解してもらえような取り組みを続けたい。

ここを  
聞きたい

## 企業版ふるさと納税の活用

**問** 企業版ふるさと納税制度を活用し、財源の確保に努め、今年度のうちより町外の企業に声をかけ、内閣府へ地域再生計画を提出し、寄附金を集めることができるように準備を進めるべきでは。

**答** 企業版ふるさと納税の活用は大変有効な手段と捉えており、町長部局とも連携しながら進めていきたいと考えている。

ここを  
聞きたい

## 今年度の除排雪体制は

**問** 転出理由の多くが雪の多さであり、除排雪対策の充実による住環境の改善は人口減少対策として早急に取り組むべき。人手不足問題が表面化している中、除排雪問題の将来的な課題と対応は。

**答** 除雪従業者の人手不足が問題。早目の対応ができ昨年同様の規模で体制を確保できる見込み。除雪機械の自動運転化導入に向けて研究を進めると共に行政と民間の協同で除排雪体制の強化を図る。



当別青年会議所が主催する当別花火大会

ここを  
聞きたい

## 当別花火大会の意義とは

**問** 今年の集客数は 1 万 5,000 人を超え、町内への経済効果は大きい。交流人口増を目標に掲げる宮司町政としてこの花火大会の意義をどのように認識し、今後どのような支援を考えているか。

**答** 集客力のあるイベントは意義が深く、来年以降も継続していただきたいと考えている。また、花火大会の継続に向けて問題があれば、行政としても協力支援の研究をしていきたいと考えている。

ここを  
聞きたい

## 150 年記念事業へ PR は

**問** 交流人口増のため当別町 150 年を大いに活用すべき。開拓の歴史である当別神社、阿蘇公園で開催される花火大会は、その主要なツールになり得る。集客力を当別町の PR に活用すべきでは。

**答** これだけの集客力を持つ花火大会は、当然、当別 150 年記念事業として位置づけられるにはふさわしいもの。当別町の PR につなげていきたい。

# 一般質問

鈴木 岩夫 議員



質問の  
ねらい

## 保育の副食材料費を無償に

人口減少に歯止めがかからない。子どもと高齢者にやさしい町づくりは、歯止めに効果的。保育の無償化が始まるが、新たに副食材料費の徴収が発生する。独自に助成すべきと質した。併せて入院可能な施設の確

保に向けた作業の進捗状況とめどを質した。150年を機会に、町の維持・発展の土台である経済と同時に「文化」について町民挙げての議論の再開と思い切った予算計上を含め町長・教育長の決意を質した。

ここを  
聞きたい

## 副食材料費の無料化を

問

10月に保育料無償化が始まるが、副食材料費は無償化の対象外となった。無償化で生まれた財源を副食材料費に充て、他の市町村に先んじて完全無償化にすべきでは。

答

無償化で生まれる財源は副食費を完全無償化できるほどの額にはならない。なお、年収約360万円未満の世帯と第3子以降の幼児は免除となり、助成が必要な世帯への支援は行われる。

ここを  
聞きたい

## 入院病床確保の取り組みは

問

以前、「入院病床を代替できる介護施設を併設した医療機関も視野に入れて、医療と介護の複合的施設についての研究を進めている。」との答弁があった。半年たったが、その取り組みとめどは。

答

札幌医療圏内の病床数が制限されており、極めて難しく状況の変化の兆しすら見えない。医療と介護を運営する法人の誘致を進めているが、詳細な内容を話せるような段階ではない。



令和元年度当別町戦没者追悼式

ここを  
聞きたい

## 早期に非核平和都市宣言を

問

戦没者遺族会の高齢化も進んでいる。次代を担う世代にしっかり伝えていくためにも、当別町150年を契機に非核平和都市宣言を早期に行い、その宣言実現のための事業を実施すべきでは。

答

150年の節目というのは、町民の平和意識高揚の点では一つのタイミングであると考えている。平和都市宣言について、議会と歩調を合わせていきたいと考えている。

ここを  
聞きたい

## TPP11・日欧EPA 影響は

問

2018年度の日本の食糧自給率は、カロリーベースで37%と過去最低水準。TPP11や日欧EPAの当別町への影響と当別農業の現状についての認識は。

答

当別町に関して言えば、小麦の生産面積が大きいので、最も影響が懸念されると認識している。

ここを  
聞きたい

## 義務教育学校 意見の反映

問

7月に開催した基本設計に係る住民説明会で出た要望、意見が実施設計、学校づくりにどのように反映するのか。

答

ご要望やご意見は、開校準備委員会、教育課程編成委員会、建設検討委員会の3つの委員会で協議、検討を進める。

### 【その他の主な質問項目】

野菜や花卉の価格保障を国に求めるべき、町民の心よりどころとしての文化の発展 など



# 一般質問

山崎 公司 議員

質問の  
ねらい

## 当別町の課題を解決する連携を

「さっぽろ連携中枢都市圏」については、現在、町が抱える課題、特に人口減少・少子高齢化・定住人口の減少等を解決するため、積極的な連携推進や魅力ある情報発信の必要性を質し、役場職員の定数については、

住民ニーズが増加する中、現状の人員で住民サービスが十分に出来ているか。今後の当別町の期待として人員増員が必要ではないか。平均超過時間 120 時間、有休休暇取得 13 日以上以上の目標の進捗状況を質した。

ここを  
聞きたい

### 連携による課題は

**問** さっぽろ連携中枢都市圏の連携による当別町としての費用負担の考え方、個別事業における連携の可否、今後の課題は。

**答** 当別町のニーズに基づいて実施される事業があれば一部負担を求められる。連携の可否では、利益にはならない場合は参加を見送る選択もある。課題は、スピード感が損なわれる懸念がある。

ここを  
聞きたい

### 協約とビジョンの関連性は

**問** さっぽろ連携中枢都市圏の連携協約とビジョンの関連性、役場内の推進体制、公共施設の相互利用等の町としての役割は。

**答** さっぽろ連携中枢都市圏ビジョンを当別町として受け入れ協約を締結した。推進するための専門部署を設けることは予定していない。当別町の体育館を会場の一部として活用されることがある。

ここを  
聞きたい

### 機構・人員配置は大丈夫か

**問** 職員定数条例の職員定数は 270 名だが、現在の職員数は 186 名で 84 名少ない。行政施策の実施に向け住民サービスに支障を来すことないよう機構の見直しや人員配置がされているか。

**答** これまでも住民サービス向上や効率よい行政運営を図るために組織の見直し、業務量に応じた各部署への人員の配置等を行ってきた。今後も適宜見直しを図っていくことになる。

ここを  
聞きたい

### 今後の職員定数の考え方は

**問** 職員の年齢構成、男女別等を踏まえ、総合的、長期的な視点で職員の採用に努めていくことが大事だ。今後の職員定数の考え方は。

**答** 平成 30 年度からこれまでの採用計画を改めて職員を増加させる方向にかじを切った。定数条例の範囲内で長期的な視点に立って年齢構成や男女比のバランスにも配慮した採用をしていく。

ここを  
聞きたい

### 女性職員の活躍の推進は

**問** 平成 29 年 4 月からスタートした女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画の数値目標の進捗状況は。

場における制度の定着は進んでいる。超過勤務時間や有給休暇の取得状況は、目標が達成しておらず、職員数の絶対的な不足を裏づけていると分析している。

ここを  
聞きたい

**答** 育児休業や配偶者出産休暇の取得状況からは職



増えつつある女性職員

# 一般質問

五十嵐 信子 議員



次のページは

議案審議の結果 定例会では討論・採決が行われました。

質問のねらい

## 支え合いですっと住みたいまちに

助け合いの基盤となるのは、地域社会における人と人との大切な人間関係とネットワークの力の存在だと言われている。「自助」「共助」最近では「近助」も提唱されており、少子高齢化社会では重要な視点である

ため、地域防災計画を担当課主導で作成し、それを基に地域が独自に課題を落とし込み作り上げる必要があると思いついた。また、ゆとろのお風呂の利用について、子育て応援の拡充についての改善も求めた。

ここを聞きたい

### 共助による地域防災強化を

**問** 地域防災計画を基に、自主防災組織率の向上に取り組み、88.4%の町内会で、組織が結成されている。地域活動の状況やいざというときのリーダー育成の現状・今後の対策はどうか。

**答** 町として、地域の自主防災組織を主な対象として防災セミナーや防災出前講座を実施し、学習機会の提供を行い、そこに参加された方々が各地域で活躍していただけるよう呼びかけをしている。

ここを聞きたい

### 近助の観点の防災活動を

**問** 地域に即した防災活動を行うため、小さな単位の地区防災計画をつくるとともに、その計画に基づき活動するよう進めていくべきと考えるがどうか。

**答** 現在、地区防災計画を策定している地域は町内にはない。各地域の住民や事業者が自発的に作成するものと捉えているが、策定を前向きに進めていく地域があれば、側面的な支援をしていきたい。



ファミリーサポートの養成講習

ここを聞きたい

### 子育て応援の拡充を

**問** ファミリーサポートは、24時間、一人一人に合わせ利用できる。当別町もショートステイやトワイライトステイ事業など子育て支援に力を入れている自治体に倣い、行うべきでは。

**答** 現在実施しているファミリーサポートシステム事業において全て対応できていることになっている。さらに、児童相談所を通して児童養護施設の里親委託による預かり利用も可能となっている。

ここを聞きたい

### ファミリーサポートの周知を

**問** 子育て支援は、支え合いの意識を持つことで成り立つが、この制度を子育てにひと段落した方に広く周知するべきでは。

**答** 安定した運営を図るためには協力会員の確保は不可欠。養成講習並びに募集については、さらに工夫をしていきたい。

【その他の主な質問項目】

運転免許返納予定者の「ゆとろ」へのアクセス方法、ファミリーサポート協力会員の養成講座 など

ここを聞きたい

### ゆとろのお風呂で健康作り

**問** 総合保健福祉センターにあるお風呂の利用者を増やすため、ふれあいバス充実など足の確保を図るとともに、健康維持・予防や憩いの場となるような対策を行うべきでは。

**答** 施設設置の意義からは今も一定の役割を果たしている。イベントを設けて利用者を増やそうということではなく、現行の運営で利用される方々の満足度を充足させることが肝要と考えている。

# 令和元年第3回定例会

日程：9月10日～9月25日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果  
掲載ページ

傍聴人数 21人 議会中継視聴回数 298回 (10/21現在)

【議員提案】			
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	◎	—	
【専決処分】			
和解及び損害賠償額の決定について 公用車の物損事故について、損害賠償額を定め和解した専決処分の承認を求めるもの	◎	—	
【報告】			
株式会社 tobe の平成 30 年度決算及び令和元年度事業計画に関する書類の提出について 地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定により提出するもの	◎	—	
【補正予算】			
令和元年度一般会計補正予算(第3号) 4億2,780万円を増額し、総額を109億6,307万円とするもの	◎	p.6 ～ p.8	
令和元年度介護保険特別会計補正予算(第2号) 1,950万円を増額し、総額を15億8,583万円とするもの	◎	—	
【人事案件】			
教育委員会教育長(本庄 幸賢氏)の任命について 同氏が任期満了になるため再任するもの	◎	—	
【条例】			
当別町の休日に関する条例の一部改正 当別町の休日を改めるため、所要の改正をするもの	◎	—	
当別町印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正 住民基本台帳法施行令等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの	◎	—	
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正 災害弔慰金の支給に関する法律の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの	◎	—	
当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの	◎	p.14	
当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正等に伴い、条例の一部を改正するもの	◎	—	
【決算認定】			
※下記2議案は平成30年度各会計決算審査特別委員会へ付託			
平成30年度各会計歳入歳出決算認定について 一般会計、国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、介護サービス事業特別会計、後期高齢者医療特別会計の決算認定を求めるもの	付託	p.2 ～ p.5	
平成30年度水道事業会計決算認定について 水道事業会計の決算認定を求めるもの	付託	—	
【委員会報告】			
平成30年度各会計決算審査特別委員会報告 付託された案件を「原案のとおり認定すべきものと決定した。」と報告	◎	p.5	
【請願・陳情】			
《令和元年第2回定例会(6月)産業厚生常任委員会へ付託》 人口減少に歯止めをかけ、若者が地元でくらす！ 「全国一律最低賃金制度」の創設を求める陳情 〔提出者〕札幌地区労働組合総連合 議長 赤坂 正信	不採択	p.14 討論①	
《令和元年第2回定例会(6月)産業厚生常任委員会へ付託》 看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情 〔提出者〕北海道医療労働組合連合会 執行委員長 鈴木 緑	不採択	p.14 討論②	



## 《本会議での質疑》

特定教育・保育施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正

### 副食費助成に条例改正は必要か



もし町が独自に副食材料費を助成することになったときに、この条例を改正することになるのか。



規則などの制定が必要と考える。副食費の支援を含め効果的な施策の検討を進めていきたい。

### ① 討論

「全国一律最低賃金制度」の創設を求める陳情

採択すべき 鈴木議員



しっかり声を上げるべき

中央最賃審議会が生計費に基づいた議論を開始するためにもしっかり声を上げるべき。

不採択すべき 稲村議員



中小企業の経営が困難になる  
全国一律最低賃金制度を導入することは賃金上昇を招き中小企業の経営が困難になる。

#### 【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	高谷	島田	岡野
○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。  
※「—」は退席。

### ② 討論

看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情

採択すべき 鈴木議員



看護現場の処遇は国の責任で医療施設等の安全、安心な職員体制や医療、看護現場で働く労働者の処遇の確保は国の責任ですべき。

不採択すべき 秋場議員



賃金の違いがあってしかるべき  
都市圏と地方の物価の違いは歴然で、労働賃金も相応の違いがあってしかるべき。

#### 【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	高谷	島田	岡野
○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。  
※「—」は退席。

**③ 討論**

介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情

**採択すべき 鈴木議員**



介護現場の処遇は国の責任で介護施設等の安全、安心な職員体制や介護現場で働く労働者の処遇の確保は国の責任ですべき。

**不採択すべき 五十嵐議員**



全国一律は地域格差があり難しい全国一律を求めることは、地域格差もあり、難しいものではないかと考える。

**【賛否が分かれた採決の公表】**

櫻井	佐々木	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	高谷	島田	岡野
○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。  
※「-」は退席。

**【請願・陳情】(続き)**

《令和元年第2回定例会(6月)産業厚生常任委員会へ付託》  
**介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情**

[提出者]北海道医療労働組合連合会 執行委員長 鈴木 緑

不採択 p.15 討論③

《令和元年第3回定例会(9月)総務文教常任委員会へ付託》  
**核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書の採択を求める請願書**

[提出者]新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体  
[紹介議員]当別町議会 議員 澁谷 俊和、議員 鈴木 岩夫

継続 -

《令和元年第3回定例会(9月)産業厚生常任委員会へ付託》  
**マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書の採択を求める請願書**

[提出者]全日本年金者組合当別支部 支部長 相馬 ひろ子 他4団体  
[紹介議員]当別町議会 議員 澁谷 俊和、議員 鈴木 岩夫

継続 -

**総務文教 認定こども園おとぎのくにを視察**  
常任委員会

8/22 町内所管事務調査

今年4月より公私連携幼保連携型認定こども園となった社会福祉法人高陽福祉会が設置・運営する「認定こども園おとぎのくに」やふれあいバス西当別道の駅線、スウェーデン館を視察し、法人の方や担当課から説明がありました。



「認定こども園おとぎのくに」にて

**産業厚生 水稻の生育は平年並みに推移**  
常任委員会

8/26 町内所管事務調査

リフォームが行われている東町団地や札沼線代替バスの予定路線で道路改良が行われる町道北八号線、水稻や大豆の生育状況を視察し、石狩農業改良普及センターの職員や担当課から説明がありました。



視察した水稻のほ場(蕨岱町)

**議会運営 議会改革・議会報告会の先進地を視察**  
委員会

9/30・10/1 道内所管事務調査

議会運営委員会では、議会改革や議会報告会の先進的な取り組みについて研修をするため、清水町議会と池田町議会へ視察に行ってきました。



清水町議会での研修の様子

**産業厚生 ペレット工場を視察**  
常任委員会

10/17・18 道内所管事務調査

産業厚生常任委員会では、大樹町の町営住宅長寿命化計画と足寄町のバイオマス資源の有効活用について視察を行いました。足寄町では、ペレットボイラーやペレット工場の現地視察も行いました。



芽登ペレット工場で生産されたペレット

議会広報 読者目線で親切な広報誌を  
特別委員会 8/20 北海道町村議会議長会議会広報研修会

『月刊総務』編集長豊田健一氏による「読者目線で親切な広報誌を作るには～手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには～」と題した講演と議会広報クリニックが行われました。



ポールスター札幌にて

森林 活性化推進 議員連盟 昨年の台風 21 号の倒木エリアを視察  
10/9 研修会

森林活性化推進議員連盟では研修会を開催し、昨年9月の台風21号で風による倒木があった伊達山林道や今年度に整備した森林管理道である曾根の沢線の現地視察を行いました。



伊達山林道の倒木エリアで説明を受けている様子

議会のうごき (令和元年8月～令和元年10月)

- |                                     |                                  |
|-------------------------------------|----------------------------------|
| 8月 19日 産業厚生常任委員会                    | 9月 25日 第3回定例会 議員協議会<br>議会広報特別委員会 |
| 20日 北海道町村議会議長会議会広報研修会               |                                  |
| 22日 岩手県八幡平市議会行政視察来庁<br>総務文教常任委員会    | 30日 議会運営委員会道内所管事務調査              |
| 26日 産業厚生常任委員会町内所管事務調査               | 10月 1日 2日 浦河町議会行政視察来庁            |
| 27日 会派代表者会議                         | 3日 愛知県飛島村議会行政視察来庁                |
| 9月 3日 議会運営委員会                       | 8日 上川町議会行政視察来庁                   |
| 10日 議会運営委員会 議員協議会 第3回定例会            | 9日 議会広報特別委員会<br>当別町議会森林議員連盟研修会   |
| 11日 総務文教常任委員会                       | 10日 新ひだか町議会行政視察来庁                |
| 12日 産業厚生常任委員会 議会広報特別委員会             | 16日 議会広報特別委員会                    |
| 13日 第3回定例会 議員協議会                    | 17・18日 産業厚生常任委員会道内所管事務調査         |
| 17日 平成30年度各会計決算審査特別委員会              | 22日 議会広報特別委員会                    |
| 18日 平成30年度各会計決算審査特別委員会<br>議会広報特別委員会 | 23日 議員協議会 会派代表者会議<br>議会運営委員会     |
| 20日 第3回定例会                          | 24・25日 総務文教常任委員会道内所管事務調査         |
| 24日 第3回定例会 議会広報特別委員会                | 28・29日 公共施設特別委員会道内所管事務調査         |
| 25日 平成30年度各会計決算審査特別委員会              |                                  |

議会を傍聴してみませんか

令和元年12月定例会のご案内

- 予定 12月3日(火)～12月10日(火)  
内容 補正予算、一般質問など  
傍聴 本会議や委員会も傍聴できます。  
※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

どこからでも議会が見られる

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



ご意見ご感想をお寄せください

議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町58番地9  
TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474  
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 秋場 信一  |
| 副委員長 | 鈴木 岩夫  |
| 委員   | 西村 良伸  |
| 委員   | 佐々木 常子 |
| 委員   | 櫻井 紀栄  |

編集後記

9月議会は、平成30年度の決算審査特別委員会も開催されました。6月議会の会期は1週間程度でしたが、9月は2週間と長めの議会となりました。議会だよりも、それを反映してページ数が多くなっています。皆さんの納めた税金が、どのように使われたのか、どのような分野に質疑が集中したのかできるだけ図や写真を多用して「手にとって、読んでもらえる議会だより」をめざし編集いたしました。

次号は200号です。特集を組んでの記念号になります。町民のための議会、町民のための議会だよりになるよう引き続き努力していきたいと考えています。

議会広報特別委員会 副委員長 鈴木 岩夫